

証券コード：1865

第79期 株主通信

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

改革・スピード・ベクトル～変化への挑戦～



スイブルくん

©こもりまこと



青木あすなる建設

AsunaroAoki



「環境に即応し、 持続的伸展を目指す」 (柔軟な発想と強靱な足腰)

代表取締役社長 **辻井 靖**

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2019年3月31日で第79期を終了いたしましたので、皆様に株主通信をお届けするにあたり、その業績の概要と、新たに策定いたしました2019年度を初年度とする新たな中期経営計画（3ヵ年）の概要についてご報告申し上げます。

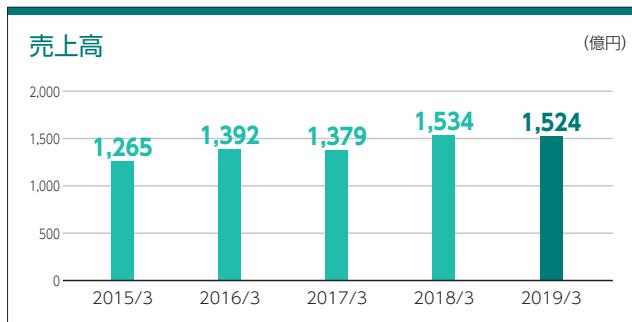
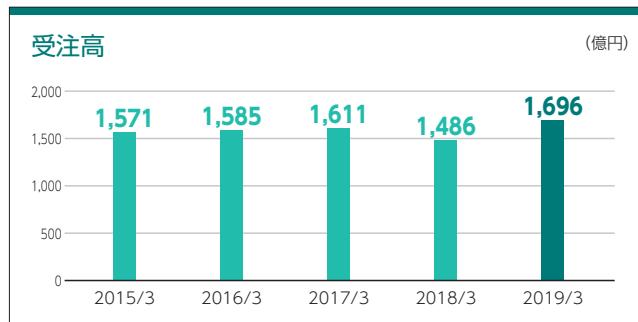
【財務ハイライト】

第79期の当社グループの連結業績は、受注高は1,696億円と前期比209億円の増加となり合併以来最高となりました。一方で、売上高は1,524億円と前期比9億円の減少、営業利益は67億円と前期比9億円の減少、親会社株主に帰属する

当期純利益は40億円と前期比12億円の減少となりました。連結売上高の減少要因は、みらい建設工業で上期の受注が前期との比較で不振であったため、当期の受注で当期の売上となる工事が減少したためであります。また、営業利益および親会社株主に帰属する当期純利益の減少要因は、みらい建設工業における不採算工事の影響および青木マリーンの業績不振によるものであります。

単体業績は、受注高が前期比186億円増の1,082億円と合併以来最高を記録し、売上高は前期比15億円増の888億円となりましたが、営業利益は前期比3億円減の36億円にとどまりました。なお、当期純利益は前期比4億円増の38億円となりました。営業利益の減少要因は、マンション市況の

〈連結業績ハイライト〉



悪化により当社のマンション販売事業であるアビダス事業の利益が前期を大きく下回ったことによるものであります。一方、当期純利益は、前期のグループ会社の業績が好調であったため子会社配当金が増加したことにより増益となりました。また、繰越高も前期より194億円増加し、今期以降に期待がもてるものとなりました。

このような単体当期純利益の増益を背景に株主の皆様への当期配当金は、前期の1株当たり22円から2円増配し、24円とさせていただきます。

【中期経営計画の策定】

当社を取り巻く環境は急速に変化する時代を迎えており、建設業界では国土強靱化や社会資本の老朽化対策および中央リニア新幹線をはじめとする大型プロジェクトなど2020年代前半までは建設需要は堅調な推移が見込まれる一方で、マンション業界では大手デベロッパーでも完成在庫が増加するなど市況がかなり悪化してきており、市場がかつての勢いを取り戻す見通しはたっておりません。また、少子高齢化等に伴う建設技術者・技能者の不足とともに働き方改革への取り組みや労働基準法の改正の影響などにより生産性向上への取り組みが急務となっております。

当社およびグループ会社がこのような環境に即応し持続的に伸展するためには、従来からの建設請負業の枠内にとどまることなく、新たな事業を創出し、働き方を創造するとともに生産性向上のために固有技術を創生していくことが

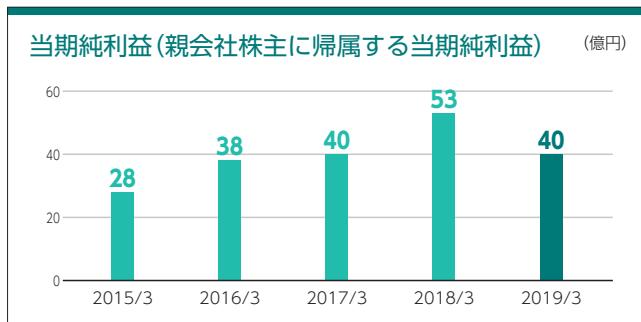
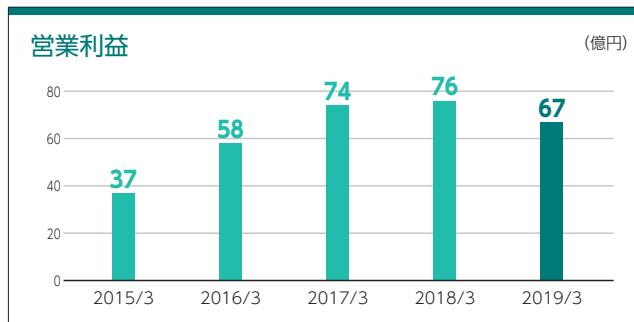
不可欠であると考えております。

かかる認識のもとに、当社およびグループ会社が将来にわたって環境に即応し持続的に伸展していくために、2019年度を初年度とする中期経営計画を策定いたしました。

当社は新たな時代に対応するため、PFIやEPC等の新たな事業形態への進出やアビダス事業に続く新規事業の開拓を進めるとともに、得意とする再生可能エネルギー関連工事への取り組みも強化してまいります。また、働き方改革への取り組みの一環として、中期経営計画最終年度には建設現場の80%以上の4週8閉所と個人ベースで100%の4週8休取得を目指してまいります。生産性向上への取り組みでは、ICT、BIM、CIM、AIへの技術対応とこれらの技術の積極的な導入による生産性の向上を目指してまいります。そしてコンプライアンスの徹底およびコーポレートガバナンスの強化やESG、SDGsへの取り組みなどの社会的な要請にも応えていく所存です。

この計画にグループ役職員が一丸となって取り組み着実に実行することで、更なる社業の発展に努力を重ねるとともに、株主の皆様をはじめとする多くのステークホルダーの方々に、より期待される企業グループを目指してまいります。

今後とも企業価値の更なる向上を目指してまいりますので、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。



新中期経営計画

我々建設業を取り巻く環境は、首都圏を中心とした再開発事業やインフラ整備などにより比較的堅調に推移するものと思われませんが、将来の市場縮小リスクに備えつつ、当社グループが環境に即応し持続的に伸展していくためには、従来からの建設請負業の枠内にとどまることなく、新たな事業を創出し、働き方を創造するとともに生産性向上のために固有技術を創生していくことが不可欠であると考えております。

基本方針

- 環境に即応し、持続的の伸展を目指す
- 柔軟な発想と強靱な足腰

重点施策

- 交通インフラへの取り組みの強化
- 耐震関連、PPP・PFI事業を活用した公共施設マネジメントへの進出
- リプレースを含む風力発電、小水力発電、メガソーラー関連工事への取り組みの強化
- 不動産活用事業の開拓・強化
- 80%以上の4週8閉所と個人ベースで100%の4週8休取得
- ICT、BIM、CIM、AIへの技術対応と積極的な導入による生産性の向上
- 協力会社との協業によるコスト競争力の強化
- コンプライアンスの徹底およびコーポレートガバナンスの強化
- ESG、SDGs、資本コストを意識した取り組みの強化

このような認識のもと、当社グループが将来にわたって環境に即応し持続的に伸展していくため、2019年度を初年度とする中期経営計画を策定いたしました。

本計画を着実に実行することで、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様にも、より高い満足感を感じていただけますよう、グループ役職員一丸となって目標達成に邁進する所存であります。

基本戦略

- リニューアル関連への取組の更なる充実
- PFI、EPC等の新事業（契約）形態への進出

数値目標（連結）



建築事業

当期の建築事業の売上高は、ゴミプラント施設や物流施設工事等の進捗により427億円となり、売上総利益率は9.3%となりました。

来期は庁舎や各種商業施設などの手持ち工事の進捗により、増収を見込んでいます。

また、官庁では工事実績を生かした中央官庁からの受注拡大、民間では大型の物流施設・工場に加え、インフラ整備事業の一環である各種プラント施設等の非住宅分野とPFI等への積極的な参入により、受注拡大へ注力し、業績拡大を目指します。



マルアイ本社、店舗棟および物流センター新築工事

土木事業

当期の土木事業の売上高は、大型の新エネルギー関連工事や東日本大震災関連工事等の進捗により1,074億円となり、売上総利益率は11.0%となりました。

来期は、交通インフラ工事や海上工事、新エネルギー、リニューアブル関連工事等を中心に受注拡大へ注力し、新たな「中期経営計画」のもとにグループ丸となって取り組んでまいります。また、ICT、AI、無人化、ロボット等の合理化技術への対応を推進し、持続的な伸展を目指します。



パシフィコ・エナジー作東メガソーラー発電所建設工事
敷地造成工事

不動産事業

当期の不動産事業の売上高は、分譲マンションの販売等により21億円となりました。今後も当社が長年培ってきた施工品質、アフターサービス体制をこれまで以上に確かなものとして、安心・安全で信頼できる顧客満足度の高いマンションをユーザーに提供し、売上、利益に貢献してまいります。

マンション販売実績

アビダス稲城駅前、アビダス町田中町イースト/ウェスト、アビダス町田中町ブライト、アビダス町田パークス、アビダス舎人テラス、アビダスタまプラザ、アビダス西国分寺、ティサージュ荻窪



ティサージュ荻窪

当社の主な完成工事



須賀川地方新ごみ処理施設設計・建設工事(福島県須賀川市)
須賀川ごみ処理施設は須賀川市、鏡石町、天栄村の3市町村から出た、ごみを処理する施設です。今までの施設は3日分のごみ処理能力でしたが、新施設は1週間分と収容規模、処理能力も格段に改善されています。4月1日より本格的に稼働し始め、構成市町村の生活向上を図る施設となっています。



(仮称)複合施設のぞみ野 新築工事(大阪府和泉市)
社会医療法人啓仁会発注の地上8階地下1階、延床面積9,141.50㎡の南大阪最大級の医療介護複合施設を建設しました。透析センター、サービス付き高齢者向け住宅、デイケアセンター、地域交流スペース等が有機的に機能した、和泉市とその近隣のシニアの方が豊かな毎日を送れる次代を見据えた複合施設となっています。



六ヶ浦漁港海岸災害復旧(23災県第521号防潮堤その1)工事(岩手県陸前高田市)
岩手県発注により、東日本大震災の津波により被災した六ヶ浦漁港海岸の防潮堤復旧工事を施工しました。着工が2014年3月、完成が2019年2月末までの約60ヵ月にわたる長期の工事となりましたが、地域の復興に貢献できました。



町道高野沼川線(仮称高城トンネル)道路改良工事(和歌山県日高郡みなべ町)
和歌山県日高郡みなべ町発注の町道高野沼川線における既設トンネル(昭和47年施工)の老朽化に伴い、既設トンネルに併設し、L=226mのトンネルを施工しました。既設トンネルは、道路幅員が狭く車両の対面通行ができず、歩行者の通行も非常に困難であったため、近隣住民は開通を待ち望んでいました。

けんせつ小町による安全パトロールを実施

当社は「警視庁四谷警察署庁舎（28）改築工事」において女性社員による作業所パトロールを実施しました。当日は、会社幹部と多くの女性社員が参加し、労働災害防止の重要性の再認識と安全意識の向上を図るとともに、女性が活躍できる作業環境や女性が働きやすい建設現場を目指すことを目的に、女性の視点から作業所内の安全状況や労働環境などを確認しました。



当社入居ビルの建替えに伴う仮移転について

当社は、現在入居中ビルの建替えが決定したため、本社、東京土木本店及び東京建築本店を仮移転いたします。

①仮移転先住所、電話番号他

〒101-0053

東京都千代田区神田美土代町1番地 住友商事美土代ビル

電話 03-5419-1011(代表)

FAX 03-5419-1016

(電話、ファックス番号は変更ありません)

②移転スケジュール（業務開始日）

2019年7月1日（予定）

③入居中ビルの建替えについて

当社の親会社である株式会社高松コンストラクショングループが現入居ビルの建替えを行うことを決定しました。2020年7月に着工、2022年9月に竣工を予定しております。現入居ビルを建替えることでTCGグループの首都圏での存在感向上とグループの持続的成長を目指しています。

④新建物の概要

- (1) 所在地(現所在地に同じ) 東京都港区芝四丁目8番2号
- (2) 新建物の概要 S造地上16階地下1階(予定)

⑤位置図、最寄り駅



神田駅 (JR中央線、山手線、京浜東北線) 徒歩8分

神田駅 (東京メトロ銀座線) 徒歩7分

淡路町駅 (東京メトロ丸ノ内線) 徒歩5分

小川町駅 (都営地下鉄新宿線) 徒歩2分

新御茶ノ水駅 (東京メトロ千代田線) 徒歩3分

会社データ

■ 会社概要

2019年6月18日現在

商号	青木あすなる建設株式会社 (Asunaro Aoki Construction Co.,Ltd.)
本社	東京都港区芝4丁目8番2号※
設立	昭和25年9月25日
資本金	50億円
上場証券取引所	東京証券取引所
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人
従業員数	1,822名 (グループ全体)

役員	取締役会長	上野 康信	取締役	吉武 宣彦
	代表取締役社長	辻井 靖	取締役	西出 雅弘
	代表取締役	小野寺弘幸	取締役	妹尾 泰輔
	代表取締役	国竹 治之	取締役	梅田 明彦
	取締役	石田 優		
	取締役	橋本 富巨	常勤監査役	角田 稔
	取締役	高橋 禎夫	常勤監査役	齋川 貞夫
	取締役	高松 孝之	常勤監査役	西川 友康
	取締役	朴木 義雄	監査役	関 房雄
	取締役	小川 完二	監査役	有働 和明

※2019年7月1日付で千代田区神田美土代町1番地へ移転します。

グループ会社

会社名	主な事業内容	本社所在地	代表取締役
みらい建設工業株式会社	総合建設業	東京都港区	小西 武
東興ジオテック株式会社	法面保護工事、地盤改良工事、爆砕工事、保温・耐火工事	東京都中央区	瀬高 末広
青木マリーン株式会社	海上埋立工事、海上工事、港湾工事、陸上土木工事	神戸市	神原 正明
あすなる道路株式会社	道路工事、舗装工事	札幌市	岡村 秀豊
株式会社エムズ	建築リノベーション工事	東京都中央区	尾崎 彰郎
新潟みらい建設株式会社	舗装工事、土木工事	新潟県南魚沼郡湯沢町	浅賀 美夫
株式会社島田組	埋蔵文化財発掘調査、土木工事	大阪府八尾市	岩立 二郎
株式会社アクセス	埋蔵文化財発掘調査、土木工事	大阪府八尾市	利川 昇

株主優待制度について

当社では、株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、株主優待制度を実施しております。「南魚沼産コシヒカリ(新米)」以外に、「社会貢献活動への寄付」等も選択できる制度を設けております。詳しくは、同封しております「株主様ご優待のご案内」をご覧ください。

株主優待の内容 次のいずれか1つを選択いただけます。

1 南魚沼産コシヒカリ(新米)

- ① 5kg (500株以上ご所有の株主様)
- ② 10kg (2,000株以上を5年以上に亘り所有されている株主様)

【お届け日】 毎年10月下旬を予定

※株主名簿に記載の住所にお送りしますので、住所変更があった場合には、速やかに住所変更のお手続きをお願いいたします。



南魚沼産コシヒカリ

2 社会貢献活動への寄付2,500円

あしなが育英会 または、日本ユニセフ協会

表紙：当社のコーポレートキャラクター「スイプルくん」
当社が保有する水陸両用ブルドーザー(コマツ製D155W)をモデルに制定